



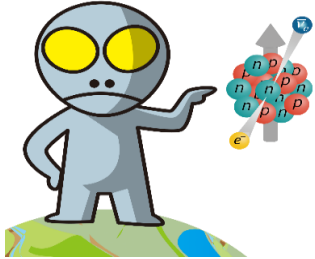
【10月期】9月4日(水)10時から受付開始


※金額には消費税が含まれています。


新規講座

講座名	New ! 美人画入門～江戸浮世絵系の水脈～		
講師名	齊藤 泰嘉 (筑波大学名誉教授、常磐大学特任教授)		
講義日時	第2金曜 13時～14時30分 ①12/13 ②1/10 ③2/14 ④3/14		
受講料	会員	5,280 円	
(4回分)	一般	7,040 円	
講座内容	<p>江戸浮世絵系美人画は、江戸時代に庶民の娯楽として人気を博しますが、明治維新の文明開化(西洋文明の流入)という近代日本の始まりによって危機に瀕します。しかし、明治以降も江戸の「粋(いき)」を愛する人々の気持ちが消えたわけではありません。この講座では、「寛政三美人」を推した喜多川歌麿、その版元蔦屋重三郎、歌麿と並び称された鳥文斎栄之らの活躍した江戸時代にさかのぼり、その主要作品を紹介し、さらに明治以降に江戸浮世絵系美人画を再生させた鏑木清方、伊東深水をとり上げ、江戸、明治、大正、昭和を流れる浮世絵系美人画の水脈をたどります。</p> <p>蔦屋重三郎は2025年のNHK大河ドラマ「べらぼう」の主人公です。</p> <p>きたがわ うたまる つたや じゅうざぶろう</p> <p>①12/13 喜多川歌麿と蔦屋重三郎 美人画の源流は、江戸の浮世絵にあります。「寛政三美人」を描いた喜多川歌麿とその版元蔦屋重三郎は、自分たちの「推す」女性たちを世に送り出しました。華やかな美人画は江戸の「粋(いき)」として町民に愛されましたが、同時に幕府の風俗取り締まりの対象ともなり、喜多川歌麿とその版元蔦屋重三郎は、幕府から規制を受けます。そうした弾圧をかいくぐりながら美人画を作り続けた二人にとって美人画とは庶民の心意気の現れでもありました。2025年のNHK大河ドラマ「べらぼう」は蔦屋重三郎が主人公です。</p> <p>ちようぶんさいえいし</p> <p>②1/10 鳥文斎栄之 鳥文斎栄之は、元は武士でしたが、画才を生かして浮世絵師となり、美人画では喜多川歌麿と並び称されるほどの人気を得ていました。しかし、明治時代に入ると浮世絵版画は国内での人気ですたたり、名作は海外へ流出してしまいます。その数は200万枚以上とも言われています。鳥文斎栄之やその流派の絵も外国人愛好家の手に渡ってしまいます。日本では幻の絵師となってしまった鳥文斎栄之の展覧会「サムライ、浮世絵師になる！鳥文斎栄之」が2024年に千葉市美術館で開かれ話題となりました。</p> <p>かぶらぎきよたか</p> <p>③2/14 鏑木清方 明治に入り、江戸浮世絵系美人画の命運は尽きてしまったのでしょうか。そうではありません。危機に瀕した江戸文化の華を再び咲かせたのが鏑木清方です。清方の師は水野年方、その師は月岡芳年、その師は歌川国芳です。近代日本画の巨匠として評価の高い鏑木清方は、幕末最大の浮世絵流派歌川派の流れを汲む画家です。また、鏑木清方《隅田河舟遊》は、鳥文斎栄之とのつながりもあります。鏑木清方幻の名作と呼ばれた三部作《浜町河岸》、《築地明石町》、《新富町》は2019年に再発見され、東京国立近代美術館が5億4千万円で購入しました。</p> <p>いとうしんすい</p> <p>④3/14 伊東深水 伊東深水は鏑木清方の弟子です。大正から昭和にかけて浮世絵版画の再生を目指す「新版画運動」が起こります。新版画とは浮世絵版画のように絵師、彫師、摺師の分業体制による版画制作です。版元渡邊庄三郎が提唱し、伊東深水、川瀬巴水らが絵師として活躍しました。伊東深水《指》は、大正時代の美人画流行を代表する肉筆美人画であり、江戸浮世系美人画の正統を継承する絵です。竹の縁台に腰かけて夕涼みをする風呂上がりの新妻を描いたこの絵には謎があります。プロのモデルさんをお願いして名画再現実験を試みましたが、実現が難しいポーズでした。絵の中でしかありえない美しさを描いた作品でした。</p>		

講座名	New ! 樹形と花実をコントロールする剪定		
講師名	二階堂 太郎 (国立科学博物館筑波実験植物園屋外圃場班リーダー)		
講義日時	土曜 10時～12時		
	①11/16	樹木の構造と剪定の基本 ・樹木が大きく育つ仕組み ・平面の枝と立体の枝の剪定	
	②11/30	自然樹形剪定と花実誘導剪定 ・花実がつく仕組みと人為誘導 ・自然樹形と剪定強度の関係	
	③12/7	いつにどれだけ切れるか ・剪定強度は樹勢と季節で決定 ・樹木の元気を維持する管理	
受講料	会員	6,600 円	
(3回分)	一般	8,250 円	
講座内容	<p>光合成で作られた糖などが枝葉と花実の成長に配分されます。本講座は樹木の生き様から、その配分や樹形をコントロールする剪定を学びます。また、私が行ったサザンカ縮小剪定の動画を用い、剪定手順の詳細を解説します。</p>		

講座名	New ! 宇宙は左右の違いからできている		
講師名	坂元 眞一 (サイエンス・メディア・ラボ 科学コミュニケーター)		
講義日時	第2、第4土曜 10時～11時30分		
	①10/26	左右はどう決まった？ 文字や言葉の右と左、生活や社会の右と左、鏡の不思議	
	②11/9	宇宙の右と左、生物の世界の右と左、分子の世界の右と左	
	③12/14	電磁気の右と左、素粒子の世界の右と左、左右の違いが宇宙をつかった	
受講料	会員	3,960 円	
(3回分)	一般	5,610 円	
講座内容	<p>宇宙が今のような姿になったのは左右に違いがあったからです。様々な左右の違いを見ながら、宇宙の成り立ちを考えていきます。</p>		

講座名	New ! 『大鏡』を読む	
講師名	椋島 住子 (日本古典文学研究家)	
講義日時	第2、第4水曜 10時～11時30分	
	①10/23 ②11/13 ③11/27 ④12/11 ⑤12/25 ⑥1/8 ⑦1/22 ⑧2/12 ⑨2/26 ⑩3/12	
受講料 (10回分)	会員 13,200 円 一般 16,500 円	
テキスト代	1,980円(税込) 『日本の古典をよむ⑪ 大鏡・栄花物語』 小学館 *各自ご用意ください。	
講座内容	<p>平安時代、摂関政治の栄華を極めた藤原道長。虚実とりまぜた”歴史物語”が描かれています。NHK大河ドラマ「光る君へ」の視聴の助けになるでしょう。</p>	

講座名	New ! 茨城の江戸時代の諸大名	
講師名	千葉 隆司 (かすみがうら市歴史博物館館長)	
講義日時	第1、第3土曜 10時～11時30分	
	①12/7 かすみがうら市の交代寄合本堂家 ②12/21 つくば市の谷田部藩細川家 ③1/18 筑西市の下館藩石川家 ④2/1 行方市の麻生藩新庄家 ⑤2/15 古河市の古河藩土井家	
受講料 (5回分)	会員 6,600 円 一般 9,900 円	
講座内容	<p>江戸時代の茨城は、数多くの大名が治める地域でした。今回は、谷田部藩と細川氏、麻生藩と新庄氏、下館藩と石川氏、古河藩と土井氏、志筑と交代寄合本堂家の歴史を学びます。</p>	

提携講座(筑波大学人文社会系)つくばSDGsマイスター講座		場所 つくば教室
講座名	New! SDGsから振り返る日常生活～私たちにできること	
講師	筑波大学人文社会系講師陣	
講義日時	第1、第3金曜 10時～11時30分	
受講料	会員3,300円 一般4,950円(5回分)	
講座内容	<p>地球の未来を見据えつつ、私たちに何ができるだろう。日常に潜む様々な違和感の一つ一つにこそ未来を考えるヒントがあります。持続可能社会を築くための達成目標SDGsを学び、この地球の未来をとともに考えていきましょう。</p>	
①10/4	横山 剛(仏教学)	
	<p>しあわせのかたちを考えてみよう:インド仏教とSDGs</p> <p>21世紀を生きる私たちの目標であるSDGs。それは私たちの考える(しあわせのかたち)でもありません。しかし、それは、いつでも、どこでも、だれにでもあてはまるものなのでしょうか。私たち日本人になじみ深い宗教である仏教の信徒たちも、しあわせについて本気で考え、それを実現するために努力を重ねてきました。今回は時代と地域と文化を飛び越えて、仏教の原点であるインドを訪れ、インド仏教徒の視点からSDGsをみてみましょう。彼らの目にそれはどのように映るのでしょうか。私たちが慣れ親しんでいる価値観や常識から視点を移してSDGsを内外から観察し、(しあわせのかたち)について考えてみましょう。</p>	
②10/18	秋山 肇(平和研究・国際法・憲法)	
	<p>AIと法・憲法・SDGs</p> <p>生成AIをはじめとして、AIについて議論されることが多くなっていますが、法や憲法、SDGsの視点からどのように考えることができるのでしょうか? AIの前提を踏まえつつ、AIの今後について考えていきましょう。</p>	
③11/1	平野 貴大(イスラーム思想史)	
	<p>イスラームと現代:タリバンの子教育論を中心に</p> <p>日本や欧米においてイスラームに対する偏見に基づいた嫌悪感(イスラモフォビア)が拡大している反面、世界中のイスラーム教徒の人数は急増しています。とくに世界の注目を集めるのがアフガニスタンのタリバンであり、彼らが女子教育を否定しているというデマがメディアで流され続けています。本講座では、タリバンの女子教育論やその場で集めた議題をテーマに、イスラーム教徒との友好的な対話や共存の方法を話し合います。</p>	
④11/15	大倉 沙江(政治学、政治過程論、ジェンダー論)	
	<p>SDGsと自然観・人間観</p> <p>日本は議会におけるジェンダー・ギャップが大きな国として知られています。このような格差は、どのように是正し得るのでしょうか。本講座では、議会におけるジェンダー・ギャップを埋めるための取り組みとして「ジェンダーに配慮した議会」というコンセプトに注目し、格差改善に向けた方策について検討します。</p>	
⑤12/6	五十嵐 沙千子(哲学)	
	<p>哲学カフェ / SDGsについて対話する</p> <p>第1～4回の講座を振り返って自分自身が感じたことをお互いに共有し、哲学者を交えて全員で対話していきます。SDGsにとって最も重要なのは「対話」、そして対話に最も重要なのは「他者の声を聴くこと」とされています。最終回はぜひ、「お互いに聴き合い、話し合う対話」を体験してください。</p>	